

雇用保険被保険者離職票の誤送付について（総務課）

総務部総務課において雇用保険被保険者離職票を誤送付した事案が発生しましたので、以下のとおり、当該事案の内容と再発防止策等について公表いたします。

また、関係者の皆さまには、多大なるご心配やご迷惑をおかけすることになり、心からお詫び申し上げますとともに、再発防止策を講じることにより、今後このような事案が生じないように努めてまいります。

1 事実経過

- (1) 令和7年4月15日（火曜日）
 - ・ 総務課の職員が、A氏及びB氏を含む対象者9人に、雇用保険被保険者離職票（以下「離職票」という。）を封筒に入れて送付した。
- (2) 同月17日（木曜日）
 - ・ A氏から総務課に「B氏の離職票が届いている」と電話があり、本件事案が発覚した。
 - ・ 職員がB氏に架電した上、すぐにB氏の自宅に取りに行く旨を伝えた。
 - ・ A氏が市役所に来庁し、B氏の離職票を届けた。
 - ・ B氏宅を訪問し、B氏の離職票を渡すとともに、A氏の離職票を回収し、本件事案について謝罪した。A氏の離職票が入った封筒は、未開封であることを確認した。
 - ・ A氏宅に、A氏の離職票を持参し、本件事案について謝罪するとともに、B氏に関する情報を口外しないよう依頼し、了承を得た。
- (3) 同月18日（金曜日）から24日（木曜日）
 - ・ 残る7人について、送付誤りがないことを確認した。

2 漏えいした情報

B氏の氏名、生年月日、性別、住所、電話番号及び退職日前6か月の賃金情報

3 漏えいの原因

- ・ 封筒に記載した宛名と離職票に記載された内容が一致しているか、複数人による確認が徹底されていなかった。

4 再発防止措置

- ・ 封入する際は、複数人で対象者及び住所等を確認する。
- ・ 誤封入による個人情報の漏えい等事案が発生しないようダブルチェックを徹底する旨の通知を発出した。